

# Y やまびこ amabiko

2021. 2  
広報誌 No78



【寒伐り】：樹木は冬季になると根からの水分や栄養分を吸い上げる活動が弱まります。この時期に伐ることを「寒伐り」といい、木材の含水率が低くカビが抑えられるなど伐採には良い時期とされています。

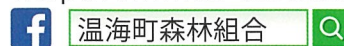
写真・技能職員 佐藤飛成 君 ※撮影のためフェイスガードを上げています。

## 主なもくじ

- 令和2年度組合運営と事業経過について  
各部門の取組状況 ..... 2・3
- 森の掲示板 他 ..... 4



**JForest** 温海町森林組合  
<http://shinrin-atsumi.or.jp>



## 令和2年度組合運営と事業経過について II 積極的な取り組みで経営の安定化 II

組合員の皆様、新しい年をお過ごしの中、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、本年度の当組合運営は任期満了の役員改選により新体制でのスタートでありましたが、新型コロナウイルス感染の拡散で社会全体に行動規制が強いられるなど、経済情勢の先行きが不透明な船出となりました。

こうした影響で、木材の需要先である住宅産業が低迷し、特に大型の合板工場や集成材工場では原木丸太の値下げや受入規制を行うなど厳しい状況となりました。このため、県内では山形県森林組合連合会が県の支援を受け、原木丸太のストックヤードを県内数ヶ所に確保し、生産された原木を大型工場等へ出荷するまでの間のストック対策が講じられました。

一方、当組合の間伐や皆伐での木材生産は、出荷先の大型工場との連携や積極的な販売により、価格は低迷したものの販売先は確保され、施策計画は順調に進み経営の安定化が図られています。

現在、原木価格は値下げ前にまで戻っています。また、コロナ感染の第3波で大都市を中心に緊急事態宣言が発出されているなど、経済への打撃がさらに心配される状況が続いています。

また、自然災害では本年度も集中豪雨が各地で多発し、県内では7月に記録的な豪雨で最上川が氾濫して北村山地域に甚大な被害をもたらしました。当温海地域でも昨年度に続き林道や作業道の

路面が洗掘されるなどの被害が発生しましたが、当組合は鶴岡市と連携しその復旧に取組みました。なお、コロナ禍が続くなか組合員の健康と安全を鑑み、計画しておりました組合員研修視察を中止するとともに、冬期に予定しておりました集落座談会につきましても、感染防止の観点から本年度は取止めることといたしました。

つきましては、本誌により本年度事業の経過等を次にご報告いたします。

### 指導部門

#### 森林・林業の普及指導に取組む



自然環境学習

様々な行事が、コロナ禍の影響で取りやめとなるなか、市や学校と連携して行ってきた、自然環境学習や一般市民を対象にした「山の活動体験」等については、感染予防対策を行った上で開催することができました。学校関係の

自然環境学習は温海・鼠ヶ関の各小学校で延べ7回の指導に取組み、森林・林業の役割や森林は「伐る・使う・植える・育てる」このことで持続可能な資源となることを子供たちに伝えていきます。また、毎年行っている「山の活動体験」には20名の参加を得て、チェンソーのメンテナンスや伐倒作業での注意点を現場での実演



山の活動体験

を交え講習を行い、伐採作業技術と安全意識の向上に取組みました。さらに、DIY講座（木工教室）では、生活の中にあつみ杉を取り入れるきっかけとして積極的にかわり、組合事業への理解と林業の普及啓発に努めました。



DIY講座

### 販売部門

#### 大手製材工場等との信頼と連携で販路の安定確保



木材市場はコロナ禍の影響により丸太の受入数量の規制、買取価格の値下げなどで厳しい出足となり、他の地域では原木市場の停滞を懸念し生産を抑える方向で動いたところもありました。この様な厳しい中、当組合では安定供給を望む取引先からの信頼にこたえる納材と、新たな販路を確保することで流通を停滞させることなく生産し販売を行ってきました。これにより、12月末での取扱数量は約21,800㎥と前年同期に比べ大幅な増産で推移しております。

今後1月～3月の冬期間は、例年以上の積雪や悪天候により生産効率が下がり販売数量は落ち込むと予想されますが、年間での取扱数量は前年度を上回る実績が見込まれます。



・人工林の若返りを進める  
「焼畑あつみかぶ」栽培の継続

今年度で5年目となった「焼畑あつみかぶ」栽培は、小菅野代地内で昨年提案して行った皆伐地を借受け実施しました。皆伐面積約1・5haの内約1・1haを圃場として使用し、火入れによる地拵え費用の軽減と、かぶの収益による造林後の下刈経費の確保を目的に栽培を行っています。現在、全国各地で皆伐後に放置される山林が問題となっていますが、人工林の若返りを目指す当組合の取組みは、再造林と地域の特産品を活かした資源の循環利用への推進策として注目されています。今年のかぶ収穫量は約17tとなり、販路の拡大と地域貢献として特産品のPR活動も積極的に行いました。



あつみかぶと再造林されたスズメバネ

加工部門

「ラミナ製材の減産対策と新たな製品開発」



コロナ禍の影響による住宅産業の停滞で主力であるラミナ材の需要が低迷し4月から減産が続いていましたが、現在は需要が回復傾向にあります。しかし、

価格は依然厳しい状態にあるため、製造と販売コストの削減に取組むとともに、特に好調なホームセンター向け製品の増産を進めています。また、



「木づかいパネル」を製品化し、生活の中に木のぬくもりを取り入れることを提案し好評を得ています。

森林整備部門

「計画的な集約化施策による木材生産と利益還元の実現」

コロナ禍にあっても林業の現場は3密になるとが少なく、間伐や皆伐・再造林といった森林整備施策については計画通り進めることが出来ています。本年度の提案型集約化施策は、小名部、山五十川、温海川で実施し、現在は早田・小岩川団地が作業中であり、森林経営計画に基づく4団地での間伐作業面積は約161ha、作業道約20、000mを開設することとなります。集約化団地内で伐採した間伐材は原則枝葉以外を全て販売し森林所有者への利益還元に努めています。また、間伐と共に提案して行う皆伐も約10ha実施し、その再造林を推進して取組むなど、昨年度を超える実績となりました。(下表令和2年度の実績と見込み参照)

令和3年度における提案型集約化施策の計画は下表のとおり予定しておりますので、該当地域の森林所有者の皆様のご理解・ご協力をお願い申し上げます。

令和2年度 提案型集約化施策(搬出間伐・皆伐・再造林)の実績と見込み

団地名	搬出間伐施策実績・計画				皆伐・再造林実績・計画				備考
	面積	所有者	搬出材積	作業道開設	皆伐面積	所有者	生産材積	再造林面積	
五十川茗荷台	令和元年度施策完了(33ha)				(3.4ha)	(6人)	R元年度生産	3.3ha	内1.1ha焼畑活用
小名部越沢	30.51ha	51人	3,162m <sup>3</sup>	4,521m	1.9ha	7人	1,138m <sup>3</sup>	1.5ha	8月完了
山五十川向山田	39.70ha	29人	4,569m <sup>3</sup>	4,321m	2.2ha	8人	1,475m <sup>3</sup>	1.8ha	11月完了
温海川長元	30.62ha	28人	2,864m <sup>3</sup>	4,040m	1.6ha	1人	1,144m <sup>3</sup>	1.5ha	12月完了
早田戸ノ浦	60.00ha	83人	6,000m <sup>3</sup>	7,000m	4.0ha	7人	2,400m <sup>3</sup>	(4.0ha)	R3.5月完了予定
計	160.83ha	191人	16,595m <sup>3</sup>	19,882m	9.7ha	23人	6,157m <sup>3</sup>	8.1ha	

※表記中の( )は、計に含まれません。

令和3年度 提案型集約化施策(搬出間伐・皆伐・再造林)の計画

団地名	搬出間伐計画			皆伐・再造林計画			備考
	面積	搬出材積	作業道開設	皆伐面積	生産材積	再造林面積	
早田戸ノ浦	令和2年度～継続(60.0ha)			済	済	4.0ha	焼畑あつみかぶ栽培再造林1.0ha
五十川安土	50.0ha	5,000m <sup>3</sup>	7,000m	-	-	-	
菅野代早稲田	40.0ha	4,000m <sup>3</sup>	5,000m	5.0ha	3,500m <sup>3</sup>	5.0ha	
模代長沢	25.0ha	2,500m <sup>3</sup>	3,500m	5.0ha	3,500m <sup>3</sup>	5.0ha	
大岩川家の平	15.0ha	1,500m <sup>3</sup>	2,500m	2.0ha	1,500m <sup>3</sup>	1.0ha	焼畑あつみかぶ栽培再造林1.0ha(R4年度)
計	130.0ha	13,000m <sup>3</sup>	18,000m	12.0ha	8,500m <sup>3</sup>	15.0ha	

※計画予定地については、随時事業説明に努め合意形成を図り進めてまいります。

# 森の掲示板

## 川村造林記念山形県林業賞受賞！ 前代表理事組合長 本間 文夫 氏(五十川)

この度、前代表理事組合長の本間文夫氏が令和2年度の川村造林記念山形県林業賞を受賞されました。

本間氏は、昨年の通常総代会終了まで本組合の理事及び代表理事として4期12年勤めるとともに、その間五十川生産森林組合長を歴任し、集約化施業の効率化や生産性の向上、さらに皆伐・再造林の推進など、地域林業の振興と発展に尽力された功績が認められたものです。本当におめでとうございます。

なお、表彰式は昨年12月2日山形市のホテルメトロポリタン山形で行われ、吉村知事より授与されました。



## 林業の最重要基盤 「林業専用道」路網整備の推進

本年度、関川地区の入山林道と県道山北関川線を結ぶ林業専用道の開設を当組合が事業主体で進めています。

長年同地区より要望された路線で開設は延長2,200m幅員3.5mであり、完成後に利用区域内を集約化し間伐や皆伐の施業提案を行う予定です。

現在、工事は発注しておりますが積雪のため一時中断し融雪後工事を再開して令和3年度中の工事完成を目指します。

工事期間中地域の皆様には大変ご迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いたします。

**工事名**  
林業専用道  
「入山・越沢台線」開設工事  
**施工業者**  
(有)日本海重機建設



開設イメージ

## ～あつみ杉手指消毒器具を贈る～

系統機関である農林中央金庫では、国産材の需要拡大を目的に森林組合と連携し地域産木材で制作する木工品等の寄贈事業を全国的に実施しております。

本年度、農林中央金庫山形支店と当組合は組合があつみ杉で製作する手指消毒器具「ステップシャワースタンド」47台を鶴岡市並びに姉妹都市である東京都江戸川区に寄贈しました。

寄贈式は、昨年11月18日鶴岡市役所で行われ、農林中央金庫赤堀恭伸山形支店長様と五十嵐組合長から皆川治鶴岡市長様並びに斉藤猛江戸川区長様(リモート出席)に寄贈目録が手渡されました。鶴岡市は市内の小中学校と各庁舎に42台、江戸川区では区立図書館等に5台が設置され、感染予防とあつみ杉のPRに役立てられています。



## “あつみ杉”のコロナ感染対策器具 好評販売中!

足踏み式手指消毒器具  
“両手を拝借”  
ノンタッチで除菌シャワー  
[ステップシャワースタンド]

1台 / 19,800円(税込)



飛沫感染予防パネル  
[木づかいパネル]

1台/ サイズ価格(税込)

- L (W900mm×H750mm) / 13,200円
- M (W900mm×H600mm) / 12,100円
- S (W900mm×H600mm) / 11,000円

※サイズはアクリル板の寸法です  
使用場所に合わせた特注サイズも製作可能です、是非ご相談ください。

## 木材市況 2021.1月

県森連庄内木材流通センター

単位：㎡ / 円

樹種	長さm	末口径級cm	高値	中値	備考
杉	4.00	36cm上	14,400	12,600	△
		20cm上	11,880	10,800	○
		14~18cm	10,800	10,080	○
〃	3.65	20cm上	12,100	10,800	△
		14~18cm	11,000	10,080	○
〃	3.00	20cm上	12,240	10,800	○
		14~18cm	10,440	10,080	○

※備考欄の○高・○保合・△安は前月比

## ● ● お願い ● ●

### \*組合員資格等の変更届

山林の所有名義や所有面積に移動があった時は、変更の届出をお願いします。

### \*森林の土地を取得したときは届出が必要

山林の売買や相続など面積に問わず全てに必要です。詳しくは、市の林務担当課へお問い合わせください。

編集/発行

**JForest** 温海町森林組合

〒999-7123 山形県鶴岡市大岩川字木揚場8番地  
TEL (0235) 43-2313 FAX (0235) 43-2317